

広報

No.161

# TABAYAMA 丹波山



大きな自然のポケットです。  
山の山の手。丹波山村。

平成30年2月

編集と発行 丹波山村総務企画課 ■山梨県北都留郡丹波山村890 TEL ■0428-88-0211 FAX ■0428-88-0207  
E-mail ■info@vill.tabayama.yamanashi.jp URL ■http://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/



## 今年も良い年で、お松引き！

1月7日（日）、丹波山の新春を祝う「お松引き」。

各家で新年を迎えた門松は「今年も良い年でありますように」の願いをこめて大きなお松様となり、威勢のいい木遣り唄にのせて道祖神まで引かれていきます。

「修羅」と呼ばれる木ゾリを生きた道具として使っているのは、日本中でも丹波山村だけという、非常に珍しいものです。ふるさとの素朴なお祭り、いつまでも残していきたいですね。

## 主なもくじ

お松引き	2
消防団出初式	3
村議会1月臨時会	4
村議会12月定例会	5
成人式	6～7
地域おこし協力隊活動報告	8～10
保健師からお知らせ	11
地域の出来事	12



# 祝 新 年



▶村長と氏子総代による鏡開き



▲今年は戌年、甲斐犬が飾られました

一に、俵を踏んまいて  
 二に、ニツコリ笑うて  
 三に、杯、手に受けて  
 四つ、世の中良いように  
 五つ、泉の湧くように  
 六つ、無病息災に  
 七つ、何事無いように  
 八つ、屋敷を買い広げ  
 九つ、穀蔵うち建てて  
 十でとうとう納まったぞえ



▲今年も大勢の参加者でにぎわいました

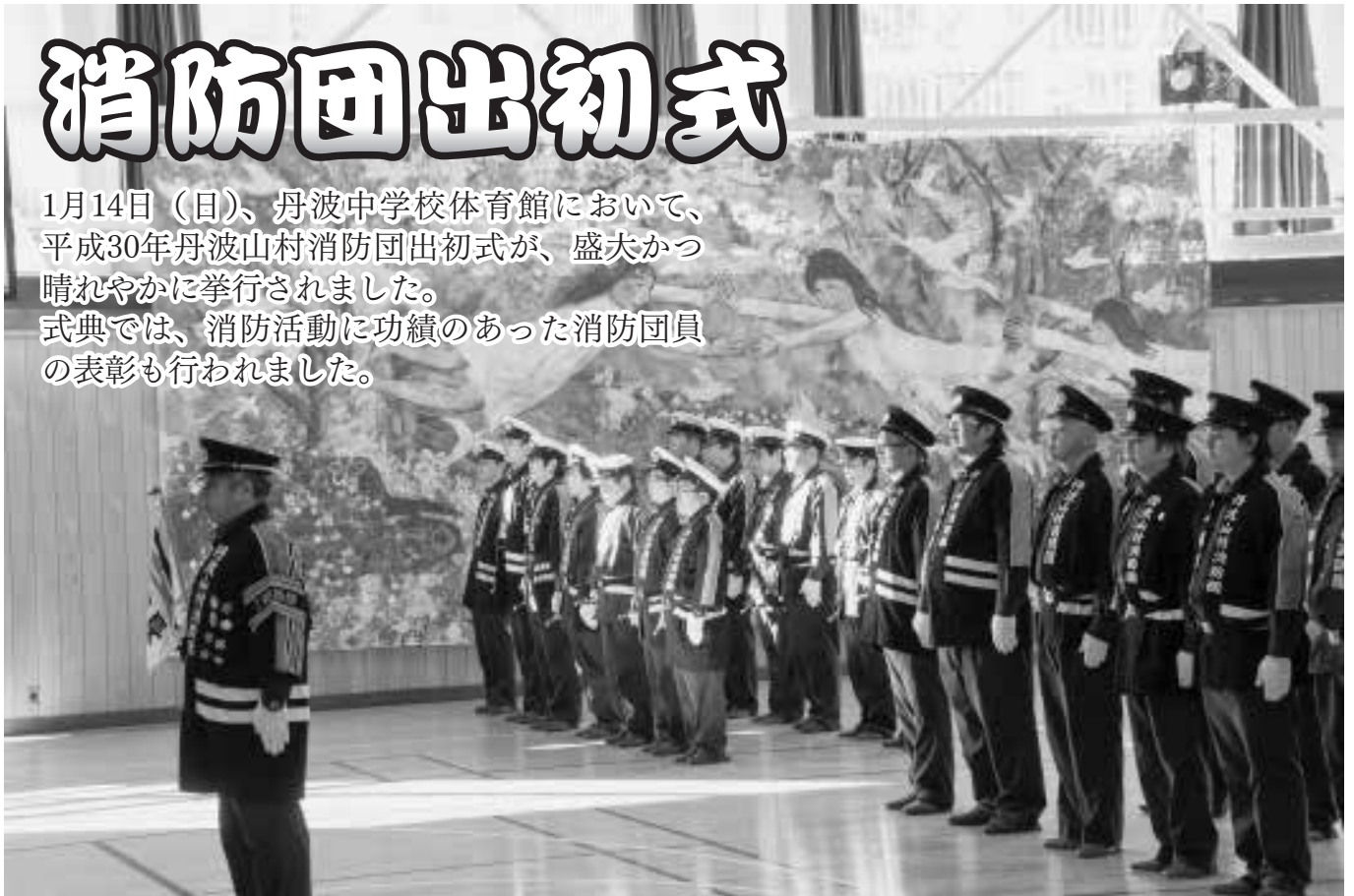


▲青梅市や奥多摩町からも応援に来てくれました



# 消防団出初式

1月14日（日）、丹波中学校体育館において、平成30年丹波山村消防団出初式が、盛大かつ晴れやかに挙行されました。式典では、消防活動に功績のあった消防団員の表彰も行われました。



▲川原での放水披露



▲今年も無火災で、団長訓示

## 表彰された団員

■地域県民センター所長表彰  
第一部 部長 守岡辰之

■県消防協会  
乙種功労表彰  
第二部 班長 青柳雄大

■県消防協会  
東部支部長表彰  
第二部 団員 榎澤直樹

■県防犯協会  
上野原支部長表彰  
第二部 団員 船木隆嘉

■丹波山村消防団団長表彰

▼35年勤続表彰

第一部 団員 岡部秀樹

第一部 団員 嶋崎 啓

第二部 団員 船木良哲

第二部 団員 廣瀬浩蔵

第二部 団員 嶋崎忠久

▼30年勤続表彰

第一部 団員 木下修一

第一部 団員 酒井由記夫

第二部 団員 岡部光男

▼25年勤続表彰

第二部 団員 白木孝郎

第二部 団員 岡部岳志

村民皆様からのたくさんのご芳志、ありがとうございました。

# 温泉入浴料を改定 村民料金は据え置き

# 村 議 会

## 1 月 臨 時 会

### 村内の中学生以下は無料 お得なフリーパスも新設

#### ■一般会計補正予算

平成29年度一般会計補正予算(第6回)は、810万円を追加して、補正後の予算総額は15億8666万6千円となりました。

主な内容は、職員給与費の不足分200万円と温泉会計への繰出金610万円です。

#### ■温泉会計補正予算

平成29年度温泉会計補正予算(第3回)は、610万円を追加して、補正後の予算総額は2億3808万4千円となりました。

主な内容は、温泉リニューアルに伴う式典経費、更衣室、ロッカーなどの修繕費、パンフレット作成費、温泉従業員の研修費などです。

- ・更衣室、ロッカー等修繕費、看板修正費 250万円
- ・従業員研修旅費 160万円
- ・広告費等 60万円
- ・広告費等 50万円

#### ■温泉施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

のめこい湯リニューアルに伴い、入浴料金を改定するものです。改定後の入浴料金は下表のとおりとなります。

新料金の適用は6月1日からで、3月15日から5月31日の間は、旧料金で入浴できます。

#### ■定住促進住宅の設置及び管理条例の一部を改正する条例

高尾村営住宅の完成に伴い、家賃等を定めるものです。家賃は、乳幼児又は小中学校に就学させる児童生徒が同居人としてある場合は2万円、その他の場合は3万円となります。

#### ■公の施設に係る指定管理者選定審査会条例の制定

指定管理者を選定するに当たって審査会を設置するため制定するものです。



装いも新たに、さらなる充実  
3月15日、リニューアルオープン!

▲温泉の改修工事も進んでいます

### 改定後の入浴料金 (入湯税含む)

区 分		金 額
村 民	大人 1日	300円
	77歳以上及び中学生以下	無料
	フリーパス (1ヶ月)	4,500円
	フリーパス (3ヶ月)	10,000円
村民以外	中学生以上 1日	900円
	小学生 1日	450円
	フリーパス (1ヶ月)	13,500円
	フリーパス (3ヶ月)	27,000円
	小学生未満	無料

※新しい料金は平成30年6月1日から適用する。  
※上野原市民及び小菅村民が使用する場合は村民と同じ料金とする。

# 一般会計補正予算は 6108万1千円を追加

村議会 12 月定例会は、12 月 8 日に開会し、15 日に閉会いたしました。審議された案件は、平成 29 年度補正予算案や条例案、契約の締結など 11 件が提出され、すべて原案のとおり可決されました。

## 村 議 会

### 12月定例会

#### 七ツ石神社再建に向け 解体費等を予算化

岡線横崩落復旧工事、囲いわな設置費などです。

養給付費の精算による過年度還付金です。

#### ■一般会計補正予算

平成 29 年度一般会計補正予算(第 5 回)は、6108 万 1 千円を追加して、補正後の予算額は 15 億 7 8 5 6 万 6 千円となりました。

対象事業は村道押垣外線崩落工事、村道保之瀬橋橋梁補修工事です。

▼商工費  
3636 万 8 千円追加  
温泉会計繰出金などです。

直診勘定は診療所の電気設備修繕費や歯科診療所の高圧蒸気滅菌器の購入などです。

平成 29 年度一般会計補正予算(第 5 回)は、6108 万 1 千円を追加して、補正後の予算額は 15 億 7 8 5 6 万 6 千円となりました。

歳入について、目的別に見た主な内容は、

▼土木費  
4063 万 9 千円追加  
村道押垣外線崩落工事、村道保之瀬橋橋梁補修工事などです。

#### ■下水道会計補正予算

平成 29 年度特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第 1 回)は、699 万 4 千円を追加しました。

歳入の主な内容は、

#### ▼総務費

▼国庫支出金  
3308 万 2 千円減額  
地方創生推進事業交付金の減額などです。

4581 万 1 千円減額  
地方創生推進事業の減額などです。補助事業の採択結果によるものです。

#### ▼消防費

118 万円追加  
自動体外式除細動器(AE D)購入費などです。

#### ■介護保険会計補正予算

平成 29 年度介護保険特別会計補正予算(第 2 回)は、304 万円を追加しました。

▼県支出金  
242 万 5 千円減額  
総務費補助金の減額などです。

▼民生費  
424 万 7 千円追加  
社会福祉協議会の運営費補助金などです。

▼教育費  
404 万 9 千円追加  
ヘリコプターによる七ツ石神社の解体工事と狛犬修復費などです。

#### ■温泉会計補正予算

平成 29 年度温泉事業特別会計補正予算(第 2 回)は、364 万 2 千 5 百円を追加しました。

#### ▼繰越金

615 万 8 千円追加  
前年度からの繰越金です。

▼衛生費  
500 千円追加  
ゴミ収集の塵芥車、パッカー車の修繕費です。

#### ■国民健康保険会計補正予算

平成 29 年度国民健康保険特別会計補正予算(第 1 回)は、事業勘定に 253 万 2 千円を追加し、直診勘定に 99 万円を追加しました。

#### ▼村債

3500 万円追加  
過疎対策事業債の追加要望です。

▼農林水産業費  
1994 万 9 千円追加  
中産間地域所得向上支援対策事業の備品購入費、農道上

策事業の備品購入費、農道上

主な内容は、事業勘定は療

です。





# 祝 成人

丹波山の将来を担う  
若者たちとタバスキー

1月2日（火）、中央公民館において、平成30年成人式が厳粛かつ晴れやかに行われました。  
今年の新成人は女子4名、平成9年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた若者たちです。  
丹波山村のマスケットキャラクター「タバスキー」も実は同級生。誕生は平成9年10月1日生まれの20歳。  
みんなで仲良く記念写真。「はい、タバスキー」



▲ お酒もちよっぴりは。村長と乾杯！



▲ タバスキーもおめかしして出席



4月からネイルサロンに就職が決まり、一生懸命頑張りたいと思います。残りの学生生活も精一杯楽しみたいと思います。



木下美里さん  
(奥秋・喜人さん)

2月に20歳を迎えますが、謙虚な心を大切に、向上心を持った大人になれるように、頑張りたいと思います。



木下真実さん  
(奥秋・浩一さん)

大人としての自覚を持ち、それに伴った行動が取れるようにしていきたいと思えます。



木下恵香さん  
(奥秋・修一さん)

介護施設で働いています。これからも人の役に立てるように、頑張っていきたいと思えます。



菅野愛子さん  
(鴨沢・夏子さん)

一人ひとこと

# 新成人、抱負を語る!



△久しぶりの再会で話はずむ

# 続・丹波山村の鹿を全国に！

鹿加工商品を続々と開発中です。  
村内に「囲いわな」も設置します。

## 地域おこし協力隊 活動報告

### 隊員 保坂幸徳

丹波山村の鹿商品が続々と完成しています。

丹波山村の鹿皮を使った印伝の販売に続き、昨年12月末にアパレルセレクトショップの代表格「BEAMS」と山梨県がコラボした鹿皮バッグの販売、並びに丹波山村の鹿肉を使ったジャーキーの試食会を、BEAMS JAPAN（新宿）にて、実施いたしました。



▲鹿皮のハンドバッグ

山村の魅力を存分に味わっていただけと思っています。

今後も山梨県と共同で新商品の開発に取り組みとともに、今回製品化した鹿肉ジャーキーを近日常に本格的に販売します。

現在、ジビエ肉加工施設横に増築中の製造工場では、鹿力レーや鹿ロックなどの加工品が製造できるよう建設を進めています。今後の丹波山村の鹿商品の展開にご期待ください。



▲鹿肉のジャーキー

### 囲いわな始動！

世界的に有名な超一流ホテルや、ミシュランで星が付くような高級レストランにも、丹波山村の鹿肉が提供されています。

しかし、鹿の捕獲量が足りず、鹿肉が不足しています。村のジビエ肉処理場に搬入される鹿肉は年間で約80頭と決して多くはありません。

世の中には丹波山村の鹿肉を欲しがらるファンが沢山いるのに、それを届けられないばかりでなく、鹿の農林作物被害は進む一方です。そんな現状を打破するために、この度、村内に「囲いわな」を設置いたしました。この囲



▲囲いわなを設置しました

いわなで年間20頭の鹿捕獲を目指します。このわなは、囲いの中にエサ（草や野菜、果物等）を置き、わなにおびき寄せて鹿を捕まえるというものです。

2月からは、鹿のエサとなる野菜くずや果物が必要になります。不要な野菜や果物がある方は、振興課までご連絡ください。皆様の力が丹波山村の産業を育てる助けになります。

※野菜や果物は状態によってはお引き取りできない事もありますので、あらかじめご了承ください。



## 「木の駅」の運営を開始しました！

村のにとって有意義な森林整備  
と木材の活用を目指します。

隊員 佐藤駿一



協力隊に着任して、もうすべ1年。この1年間、現場の技術をはじめ「森林インストラクター」の取得など、多方面から林業の勉強をさせていただきました。村では間伐手遅れ林が増加しており、環境や景観の向上、災害防止のためにも森林整備が急務です。

そんな中、10月に「木の駅」をスタートさせ、木材の受入れ体制強化と木材獲得の仕組みを整備。11月には間伐作業も開始し、木材は温泉の新ボイラーにも供給しています。今後は、グリーンロード周辺の間伐作業も行う予定です。そのためには細切れ状態の土地の集約化が重要で、

山林所有者および近隣の皆様、作業に協力して下さる方々の協力が不可欠です。

また、「木の駅」では、木材を買い取りして有効活用します。木材の持ち込みや間伐を依頼したい場合は、ぜひ声をかけていただければと思います。



▲安全第一で作業します

## コミュニティサロン開設しました！

子育て環境の充実で、より暮らしやすい場所に。

隊員 岡部 徹



今年の3月で地域おこし協力隊として3年間の任期を終えます。

私自身、妻と子と丹波山村に移住してきたこともあり、丹波山村への移住者を迎え入れるための活動を行ってきました。

都市部の移住希望者の多くは、移住先が都市としての一定の要件を備えていることを条件としており、快適な環境の中での移住を望んでいるのではないかと思います。

丹波山村に暮らすことは、「交通が不便」「仕事がない」「買い物が不便」などの現実と向かい合わせなければなりません。この村には、それらを払拭するほどの暖かな親切や思いやりがあります。

私には不便さなどはできませんが、丹波山村に移住することを検討している方のために、子育て環境を充実させ



▲盛り上がったクリスマス会

ることや、村民との交流の場を設けることなどの環境づくりならできると考え、上組の空き家を利用した「コミュニティサロン」を立ち上げました。

現在、このサロンは、放課後の子供たちの遊び場であり、村民の茶飲み場でもあります。

今後は、このサロンが村民の文化活動の場、いこいの場、移住者との交流の場となり、さらには、移住希望者のきっかけの場として役立てれば幸いです。

# 小さな村が健康長寿に挑戦する！

村への関係人口を増やすことが、活性化につながる。

隊員 石川庸三

地域おこし協力隊

活動報告



丹波山村の郷土食は発酵文化が根付いており、バランスも良く健康的な食事だと言えます。

傾斜地の多い丹波山村の環境で生活することは「ロコモティブ症候群」の改善には有効です。（ロコモティブ症候群とは筋力の低下や運動器の障害で要介護のリスクが高まることです。）

また、丹波山村の豊かな自然環境、源流や温泉は免疫向上には間違いなく効果的です。

丹波山村には健康になるための資産が沢山あり、この資産を組み合わせて、健康になるプログラムを作って実践すれば、村の方々は健康長寿になれるはずです。

そして都市で暮らす人々が、こ



▲元気通信もお届けしています

の健康プログラム体験のために頻りに村に来てもらうことが丹波山村活性化の一つの方法と考え、昨年4月から活動を始めました。戸惑いながらの準備期間が終わり、今年の4月からは少しずつ具体的な活動を始めていきます。食や運動療法、免疫向上法のセミナーや勉強会を定期的に開催していきたいと思っています。

また、東京のインターネットサービス会社と、村内での多様な体験プログラムを会員に提供する「行きつけの田舎」の企画を進めています。健康をテーマに村の方々と都市住民との交流を創造し、少しでも村の活性化になればと思います。

## 特定健診・がん検診のお知らせ

### 山梨県健康管理事業団

日 時 平成30年5月9日（水）  
 受付時間 午前8時～午前10時まで  
 会 場 交流促進センター

- \* 胸部レントゲン検診は、例年どおり村内を巡回いたします。
- \* 詳細につきましては、配布いたします「お知らせ」でご確認ください。



### 山梨厚生病院

1日人間ドックを例年どおり行います。日時等につきましては、決定次第お知らせいたします。  
 \* 送迎があります。

### JA 山梨厚生連健康管理センター

1日人間ドックを例年どおり行います。日時等については、お問い合わせください。  
 \* 送迎はありません。  
 \* 3月19日～5月13日までは、人間ドック業務休業中の為、受けることができません。



## 保健師からお知らせ

### 認知症初期集中支援チーム設置について

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまを目標として、平成30年4月1日から、住民生活課内の地域包括支援センターに「認知症初期集中支援チーム」を設置し、活動していきます。

○認知症初期集中支援チームとは、  
医療・保健・介護の専門職がチームとなって、認知症やその疑いのある人の家庭に訪問し、適切な医療や介護サービスへつなげるための支援を行います。

○専門職チーム員は、  
認知症サポート医1名（大月市・富士厚生クリニック）と保健師2名でチームを組み活動します。  
○対象者は、  
・在宅で生活している認知症が疑われる人  
・認知症の人で医療や介護保険サービスを受けていない

人、または中断している人  
・認知症の症状で対応に困っている人

認知症が気になる人、認知症の家族のことで悩んでいる人は、相談してください。

### 在宅医療・介護連携支援センターについて

住民生活課内にあります。高齢者の介護の相談窓口です。

### 生活支援コーディネーター配置について

生活支援コーディネーターを社会福祉協議会に依頼しました。2名の方が生活支援コーディネーターです。

生活支援コーディネーターは、丹波山村民による高齢者同士の介護予防活動や日常生活支援の取組を支援します。現在行われている助け合い活動を把握し、さらに丹波山村に不足しているサービスの

創出・担い手の養成等を行います。

ネットワークの構築、各団体と相互に協力して地域づくりをしていく推進員が「地域支え合い推進員」の生活支援コーディネーターです。

### 歯周病検診のお知らせ

平成29年度からの新しい事業として「歯周病検診」を丹波山村国民健康保険歯科診療所で実施しています。

40歳を過ぎると10人のうち8〜9人は歯周病があると言われています。

歯周病は、糖尿病、肺炎、動脈硬化、骨粗鬆症、認知症等の生活習慣病と深い関連があります。症状がない時期から歯周病検診を受診し、健康寿命を延ばしていきましょう。

対象者は、30歳・40歳・50歳・60歳・70歳の方で、対象の方には既にお知らせをお送りしています。3月31日までの検診で費用は無料です。検診内容には、歯のクリーニングも含まれていますので、ま

だ受診をしていない対象の方は、ぜひ、この機会に歯周病検診を歯科診療所で受診してください。

なお、30年度の対象の方には、4月上旬にお知らせをお送りいたします。

### 女性の健康週間について

国は、女性が生涯を通じて健康で明るく充実した日々を自立して過ごせるように、毎年3月1日から8日までを「女性の健康週間」と定めています。

女性の体は、生涯を通じて女性ホルモンの影響を大きく受け、思春期以降の心身の発達・妊娠・出産・育児に大切な働きをしています。

また、一方で更年期障害や女性特有のがん・生活習慣病・骨粗鬆症等とも密接に関係しています。

健康で明るく充実した毎日を送るために、自分の体について知りましょう。

この機会に、ぜひ、ご自分の健康に目を向けてみませんか。

### 花粉症に注意しましょう

今年の関東甲信地区の花粉は、前シーズンの1・5倍以上が飛散すると予測されています。

飛散開始は例年並みで、2月上旬から始まっています。スギ花粉は飛散開始を認められる前から、わずかな量が飛び始めます。

多くの方が悩まされる花粉症の3大症状は、くしゃみ・鼻水・鼻づまりで、鼻に現れる症状です。また、眼には、かゆみ・涙目・結膜の充血等が見られます。

花粉症のセルフケアは、  
①室内に入る花粉を防ぐために、花粉が付着しやすい素材を避けることが大切です。家に入る前に、衣類、髪についた花粉をはたき落しましょう。  
②室内での飛散を防ぐために、加湿器を使用することで花粉が重くなり落下します。  
③体に入る花粉を防ぐために、外出時はマスク、眼鏡、帽子を着用することで、効果的に防ぐことができます。

## 未来の村づくりの主役、 こども議会が開会！

12月7日（木）、丹波中学校生徒による「こども議会」が行われました。

本物の村議会議場を使用し、生徒が村議会議員に扮して、一般質問や提案を行いました。



## もうすぐお正月、 みんなで門松をつくったよ！

12月13日（水）、丹波小学校で児童による門松づくりが行われました。

船木昭和さんの指導により、わらの編み込みから土台づくり、松や南天の飾り付けなど、ていねいに教えてもらいました。

# 地域の出来事 Topics & News

## メリークリスマス、 ツリーの飾り付けが完成！

12月20日（水）、道の駅たばやまで丹波小学校児童によるクリスマスツリーの飾り付けが行われました。

児童たちは自分でデザインした思い思いの飾りを付けて、とてもきれいなツリーが完成しました。



## 雪も大好き、丹波の子、 風の子スキー教室！

1月9日（火）～11日（木）、新潟県の湯沢パークスキー場で風の子スキー教室が行われました。

天気にも恵まれ、子どもたちは元気いっぱいにスキーを楽しみました。